

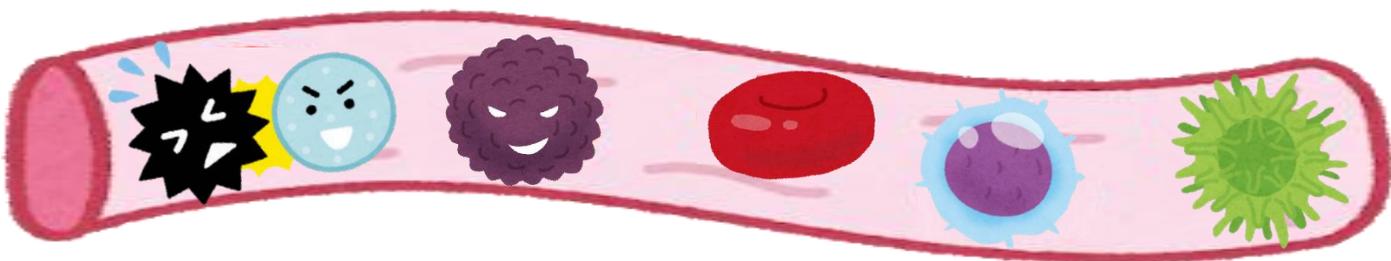
第137回 東京医科大学病院 市民公開講座

チーム医療で立ち向かうがん診療 ～血液がんに対する当院の取り組み～

血液がんとは、血液細胞が腫瘍化して発症する疾患です。白血病、悪性リンパ腫、多発性骨髄腫、骨髄異形成症候群などが知られています。治療は手術ではなく、内科的な治療を行います。長期的な治療が必要な疾患が多い特徴があります。

医師による治療だけでなく、看護師のケア、薬剤師による治療サポート、心理面のケア、心身の苦痛に対してそれぞれの専門家がサポートしています。さらに長期に渡る治療中の体力を維持できるよう理学療法士、栄養状態を支える栄養士、感染症を防ぐために必須である口腔ケアを歯科医師・歯科衛生士、移植が必要な場合にはコーディネーター、社会面の整備が必要な場合にはソーシャルワーカーなど、多くの専門スタッフが密に連携して、患者さんの治療に携わっています。

今回、当院の血液がんの治療について、また、がん医療を支えるチーム医療について、当院血液内科講師 赤羽大悟医師が解説をいたします。



■日 時：2019年9月27日（金）

開場 17：00

開演 17：30～

閉演 18：30（予定）

今回から新病院にて開催



■会 場：東京医科大学病院 本館9階 臨床講堂
（最寄駅：丸ノ内線 西新宿駅）

■申し込み：事前の申し込みは不要。当日は会場に直接お越しください。

■お問合せ：東京医科大学病院 総務課 ☎ 03-3342-6111(代)

※尚、座席数に限りがございます（360席）。満席の場合は入場をお断りする場合がございますので予めご了承ください。

共催：東京医科大学

東京医科大学病院 生涯教育センター

東京医科大学病院 総合相談・支援センター

公益財団法人 東京医科大学がん研究事業団

東京医専



東京医科大学病院
TOKYO MEDICAL UNIVERSITY HOSPITAL